

2019 年度(令和元年度)活動報告

2019 年度は「地域住民がより健康で、より元気で、心豊かに過ごせるよう、学校、地域、行政と連携して、地域の活性化およびスポーツ・文化活動の拡大に尽力致しました。

総合型地域スポーツクラブ化 13 年目でしたので、より一層運営基盤強化に努めました。

以下にご報告申し上げます。

(1) 地域住民の心身の健康づくり支援事業

「健康は長寿への第一歩」をうたい文句に月 4 回開催のいきいき健康体操教室は継続している参加者が多く、健康の街若葉台での健康に対する意識の高さを感じられます。太極拳講習会は 2 つの教室があり、それぞれ月 2 回の開催をしており、秋山教室は入門、初級、中級コースとレベルに合わせた 3 コースで実施しています。また期中から、健身気功教室を新たに開設しました。またカッコイイ大人プロジェクトで第 1 回若葉台健康フェスタを開催し、多くの高齢者が参加しました。



第 1 回若葉台健康フェスタ

(2) スポーツ活動事業

スポーツ大会では、卓球大会は古参の卓球部が健闘し優勝、地域交流ソフトボールは小学校・中学校・PTA・地域から 5 チームの参加があり、地域交流ソフトバレーボールでは中学生や先生・PTA の皆さんが大勢の方と交流が出来、楽しい大会となりました。

正月マラソン大会も晴天の下、地域内外から多くの参加者があり、3on3 バスケットボール大会も一般 14・ミニバス 14 チームの参加が有り、駅伝大会も中学生女子のチームを始め 28 チームの参加があり、大変盛況でした。その他の大会もしっかり開催出来ました。

またクラブ化して始めた春秋開催の登山やマイクロバスを利用したバスハイキングなどの活動にも、山好きやハイカーの地域の方々に参加いただき好評をいただきました。

テニススクールは、一般教室は月 4 回の開催があり、継続した受講者が活動しています。



春の軽登山



地域交流ソフトボール大会



駅伝大会

(3) 文化活動事業

毎月開催の昭和の歌はピアノやギター・クラリネットの演奏に合わせみんなで懐かしの昭和の歌を歌い、コーヒーを飲みながらの団らんは、さながら昔の歌声喫茶です。

電子顕微鏡でミクロを観る会主催で「薬を作る菌を探しませんか？」企画や市民教養講座で秋鹿先生の「CO2 削減の切り札：アンモニア燃料」、渡邊先生の「海という世界を生きる魚たち」の講座と、的川先生の「はやぶさ 2」とアポロ 50 周年、この宇宙の片隅・今の日本でできること」の講義には会場（ケアプラザ）に入りきれない 130 名の参加者があり、普段聴くことが出来ないテーマには、皆さん満足されていました。

春休み「くらしか」理科教室は、残念ながら新型コロナウイルスの関係で中止になり、戦争体験を語り継ぐ若葉の会では、広島・サイパンへの折り鶴奉納や、星槎高校・若葉台中学校・三ツ境小学校・しらかし集会所などで、講和や紙芝居などを行いました。

市民図書館（SOLA）では毎月絵本の読み聞かせを開催、図書館への来館者は 2727 名で、貸出し本も 3019 冊で昨年より増えて、地域の方々に喜んでいただいています。

その他、油絵教室 7 周年展覧会・正月書き初め・二胡教室発表会・炭焼き工芸普及会な

どの活動もしっかりしました。

文化教室は人気の英会話教室・子ども英語教室・油絵教室をはじめ、中国語教室は入門コースで生徒が増え、二胡教室・クラリネット教室・芝居体験・キッズミュージカルの受講生の皆さんは熱心に受講されており、年々レベルが上がって来ています。



クラリネットで昭和の歌



市民教養講座「はやぶさ2」アポロ50周年



中国語教室大連研修旅行



正月書き初め

(4) スポーツ・文化活動に必要な施設開放事業

34年間続いている学校開放施設（4校の学校及び旧西中の校庭・体育館・格技場・特別教室）と公園運動施設（日向根テニスコート・日向根球場・若葉台球場・大貫谷テニスコート）を利用して活動しているサークルが166団体あり、日々色々なスポーツ種目・文化種目で活動しており、これらの施設利用の調整・管理・運営をクラブで、行っております。この長く続いているスポーツ・文化のサークル活動が、若葉台の元気を持続させ、対外的にも元気な高齢者が多い地域として、近年マスコミでの報道や、福祉関係の海外からの視察が増えている原因になっており、自他ともに自慢できる地域となっていることに、この事業の重要性を感じています。

(5) 地域支援事業（運動会、文化祭）

- ① 10月の運動会は台風の影響で、1週間延期しての開催となりましたが、各自治会から大勢参加いただき、みなさんに色々な競技を楽しんでいただきました。220数名の実行委員（自治会役員）みなさんの協力で円滑に運営でき、あらためて若葉台地域の団結力の強さを感じることができました。
- ② 11月の文化祭は1週間前のプレイベント自由演奏会で開幕、全国から参加の演奏者に加え、観客も大勢で、素晴らしい演奏にみなさんは聞き惚れていました。
- ③ メインイベントの体育館でのステージ発表は、39団体の出演があり、合唱・ダンス・演奏・演武・演技には、来場の観客のみなさんはほれほれしていました。
- ④ 作品展示期間には団体個人330人の出展者の力作（絵画・工芸・絵手紙・ぬり絵・手芸・フラワーアート・華道・拡大写本・写真・書・俳句など）を見ていただきました。
- ⑤ 催事は若い世代に語り継ぐ戦争体験講演や展示・炭の工芸展示とタタラ製鉄と神話に見るヤマタノオロチ講演・郷土歴史資料室企画の講演や展示・ミクロの会と若中自然科学部主催の電子顕微鏡見学と柘植丈治先生の「働く微生物プラスチックの話」講演・障がい者理解作品展示・憲法を暮らしに活かす映画会・LPレコード音楽鑑賞・友好関係の西予市の「かまぼこ板の絵」「四国伊予ジオパーク展示」「茶堂で接待」などを開催し、いつもの感動的な芸術の秋を演出できたものと自負しております。



運動会・若中吹奏楽部演奏



文化祭・「炭焼き工芸品」

(6) 青少年支援事業

- ① 週 2 回開催のジュニアテニス教室には元気な子どもたちが参加しており、年々上手になっています。夏休み子どもの広場は夏休みの前後半各 5 日間開催、今期はカッコイイ大人プロジェクト参加企業・大学で「ドコモ embot プログラミング教室」「星槎大学・身近な材料を使った工作教室」「保健福祉大学・食育講座」「ミクロの会・紙ヒコーキ」など、多彩な内容を取り入れ、夏休みの子どもたちの生活を支援しました。
- ② 6 月開催のミニバス教室は総合型クラブ仲間のコーチに指導をいただきました。デイキャンプは若葉台スポーツ推進委員・青指の皆さんの協力で、家族（親子）での参加が多く、夏休みの 1 日を楽しんでいただきました。
- ③ 始めたチアリーディング教室も 2019 年度には受講者が 17 名に増えました。



夏休み子どもの広場・スラックライン



チアリーディング（若北まつり出演）

(7) その他

学校、地域と連携し、地域コミュニティの形成に努め、オール若葉台を対象とする連合自治会、まつりの会、社会福祉協議会が主催する行事に協力しました。また、若葉台まちづくりセンター・地区センター・住宅管理組合連絡協議会・各自治会とも協調し事業展開をしてきました。現在も継続している若葉台みらいづくりプラン推進会議や人生 100 歳ネットワーク・カッコイイ大人プロジェクトなどにも参加し、若葉台地域のより良い街づくりに協力してきました。対外的には、横浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会主催の交流会を若葉台会場（クラブ校庭・体育館・格技場）で行い、好評をいただき、KSN(神奈川県総合型クラブネットワーク)の事業にも積極的に参加し、クラブの存在感をアピールしました。

最後に 2019 年度の事業は特に事故もなく、計画に沿って上記報告のように、各事業はほぼ満足のいくような成果が上げられたと自負しております。

なお以前地域住民に実施した「健康とくらしの調査」のアンケートの結果、若葉台の高齢者は元気な人が多いとの結論が出て、これも長年にわたって学校開放施設や公園運動施設での地域の人達のスポーツ・文化活動が、大いに貢献していることが実証されたものであり、今後もより多くの方々にスポーツ・健康・文化活動に参加いただき、健康長寿で楽しい毎日を過ごしていただきたいと思います。そして、関連組織と連携してよりしっかりしたクラブに成長させたいと思います。今後とも、宜しく願い申し上げます。